

第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内(I)

理事長 遠藤 啓吾
第40回秋季臨床大会会長 宗近 宏次

第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会を下記の要領で開催いたします。
多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 期 日：平成16年10月28日(木), 29日(金), 30日(土)
会 場：新宿京王プラザホテル
(〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1 TEL : 03-3344-0111)
大会テーマ 変貌を続ける放射線医療にむけて

2. 内容

1. 特別講演
2. シンポジウム
3. リフレッシュ - コース
4. 教育講演
5. 教育展示
6. 一般演題(ポスター - 展示)

以上についての詳細は、本誌誌上でお知らせ致します。

尚、救急放射線研究会、頭頸部放射線研究会、電子情報研究会、胸部放射線研究会が併催されます。

これらの詳細は本誌誌上でお知らせ致します。

3. 連絡先：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
昭和大学放射線医学教室内
第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会事務局 後閑武彦
TEL : 03-3784-8573 FAX : 03-3784-8360
E-mail : showa-rad@nifty.com

第16回 優秀論文賞について

理事長 遠藤 啓吾

下記の通り第16回優秀論文賞の受賞者が決定致しましたのでお知らせ致します。

記

受賞論文

受賞者

Proton two-dimensional chemical shift imaging for evaluation
of prostate cancer: external surface coil vs. endorectal surface coil.
(J. Magn. Reson. Imaging 2002; 16: 697-706)

楫 靖(神戸大学)

Progression to hypervascular hepatocellular carcinoma:
correlation with intranodular blood supply evaluated
with CT during intraarterial injection of contrast material.
(Radiology 2002; 225: 143-149)

南 麻紀子(金沢大学)

ラジオ波凝固後のCT所見の経時変化：
ウサギ肝による dural phase CT所見と組織像との対比。
(日本医学放射線学会雑誌 2003 ; 62 : 816-821)

津田 雅視(国立仙台病院)

第15回放射線科専門医認定一次試験について

理事長 遠藤 啓吾

下記のごとく第15回放射線科専門医認定一次試験を行います。受験希望者は必要書類を添えて期日までに
出願してください。

記

| | |
|-------|--|
| 試験の期日 | 平成16年 8月27日(金) |
| 試験の場所 | 東京都内 |
| 試験の内容 | 1)放射線診療全般(診断,核医学,治療)における基礎知識 2)臨床放射線科医としてわきまえておくべき放射線物理学,放射線生物学,放射線管理 (放射線防護を含む) |
| 試験の方法 | 筆記試験(第14回平成15年 8月29日施行の試験問題は学会誌平成15年 9月25日号63巻 8号に掲載されています)。 |
| 受験手続 | 出願開始 平成16年 4月 5日(月) 締切 5月 7日(金)必着 |

受験を希望される方は、返信用封筒(A 4 封筒)に160円切手(一次願書と表記し)を貼り、自分の宛先(住所・氏名)を記入して学会本部に申し込み下さい。必要書類を送付します。

認定試験の受験資格

認定試験は、学会の会員で、次の各号に該当するものでなければ受験することができない。

- (1)日本国の医師免許を有すること。
- (2)医師法(昭和23年法律201号)第3条および第4条の規定に該当しないこと。
- (3)受験の時点で、医師免許取得後3年以上で本学会員となって2年以上が必要である。
- (4)上記3年のうち少なくとも2年は学会が認定した修練期間での修練が必要である。協力機関において受ける修練は修練期間の1/2まで認められている。総計の修練期間は16年5月末日まで少なくとも2年が必要である。

出願に当たっての質問は、書面で専門医認定委員会に問い合わせてください。

学会本部：〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目29番13号

赤門アビタシオン内301号室

社団法人 日本医学放射線学会

第13回放射線科専門医認定二次試験について

理事長 遠藤 啓吾

下記のごとく第13回放射線科専門医認定二次試験を行います。
(高度の臨床放射線学を理解し総合的画像診断部門、または放射線腫瘍学部門における専門的知識をもち、研修課程の放射線科医師・他診療科医師を指導できる臨床能力を評価する)

これは二段階試験のうちの二次試験です。「診断・核医学」、「放射線治療」の何れかを選択して受験して下さい。同時に二つの部門の受験は認めません。

なお、すでにどちらかの部門に合格している場合は受験出来ません。下記の受験資格に注意して下さい。受験希望者は必要書類をそえて期日までに出席して下さい。

記

| | |
|-------|---|
| 試験の期日 | 平成16年 8月27日(金)筆記試験 8月28日(土)口答試験 |
| 試験の場所 | 東京都内 |
| 試験の内容 | 1)放射線診断学 2)放射線治療学 3)放射線管理1), 2)に含む |
| 試験の方法 | 口答試問および症例を中心とした筆記試験(第12回平成15年8月29日施の筆記試験問題は学会誌平成15年9月25日第63巻8号に掲載されています。) |
| 受験手続 | 出願開始 平成16年4月5日(月) 締切 5月7日(金)必着 |

受験を希望される方は、二次願書と表記し自分の宛先(住所・氏名)を書いた返信用封筒(A4封筒に160円切手貼付)とともに学会に申し込み下さい。必要書類を送付します。

認定試験の受験資格

認定試験は、学会の会員で、次の各号に該当するものでなければ受験することが出来ない。

- (1)日本国の医師免許を有すること。
- (2)医師法(昭和23年法律201号)第3条および第4条の規定に該当しないこと。
- (3)一次試験合格者で、その後2年は学会が認定した修練期間あるいは協力機関において、診断・核医学または治療を研修したもの。
- (4)診断・核医学の二次試験受験者は、本年度から日本医学放射線学会雑誌投稿論文(主著者)あるいは放射線画像データ管理システムhttp://image.radiology.or.jp/radiology/login_ssl.htm(操作マニュアルは学会雑誌Vol62.No.9に掲載)に、7月末日まで一例の症例登録を必要とします。

出願に当たっての質問は、書面で専門医認定委員会に問い合わせして下さい。

学会本部：〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目29番13号

赤門アビタシオン内301号室

社団法人 日本医学放射線学会

日本小児放射線学会教育セミナーのご案内

理事長 遠藤 啓吾

日本小児放射線学会教育セミナーを下記の如く開催いたします。

記

小児画像検査の基本手技とその抑えるべき所見；消化管造影検査、尿路造影検査、US、CT、MRI
- これから小児放射線診断を学びたい方を対象として -

日 時：2004年 2 月14日(土) 午前11時～16時

場 所：国立成育医療センター講堂

東京都世田谷区大蔵2-10-1 電話03-5494-7123

日本小児放射線学会教育セミナー担当理事 甲田英一

セミナープログラム

11:00～11:50 消化管造影検査：野坂俊介(国立成育医療センター放射線科)

12:00～12:50 尿路造影検査：原 裕子(市立川口医療センター放射線科)

13:00～13:50 US：小熊栄二(埼玉県立小児医療センター放射線科)

14:00～14:50 CT：宮寄 治(国立成育医療センター放射線科)

15:00～15:50 MRI：久住浩美(浦和市立病院放射線科)

参加費：日本小児放射線学会会員 1,000円、非会員 6,000円

非会員は2004年度学会費を前納して頂ければ学会員と同額です。

年会費は7,000円です。入会ご希望の方は下記事務局までお知らせ下さい。

参加費支払い方法：参加費はセミナー当日お支払い下さい。

参加申し込み方法：下記申込書に必要事項をご記入の上、事務局までお送り下さい。

折り返し受講証をお送りいたします。

なお、会場の定員になり次第締め切りますのでご了承下さい。

申込先：〒355-0055埼玉県東松山市松風台4-62

日本小児放射線学会事務局 電話 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587

Eメール ky2s-mtism@asahi-net.or.jp

日本小児放射線学会教育セミナー参加申込書

平成 年 月 日

| 日本小児放射線学会 | 氏名 | ご所属 | ご住所 |
|-----------|----|-----|-----|
| 会員・非会員 | | | |